

伝統野菜の今

地域の取り組み、地理的表示の保護と遺伝資源
香坂 玲／富吉満之 著 ASAHI ECO BOOKS 37 280 ページ

食文化が世界遺産に登録される国で、
野菜が生き残りをかけて闘っている。
地域の風土と、時代の空気に適応してきた野菜たち。

今、静かなブームとなっている「伝統野菜」とは何か？

第Ⅰ部では日本各地の伝統野菜認定制度や具体的な品種を紹介し、「在来品種」とは微妙に異なること、ときに「曖昧」さを含む定義も詳しく解説。

第Ⅱ部では世界にも目を向け、開発した品種の独占利用を認める特許制度や産地表示の保護制度をめぐる国内外の状況を解説。2015年6月から運用が始まる地理的表示保護制度に関心のある方には特におすすめの入門書です。

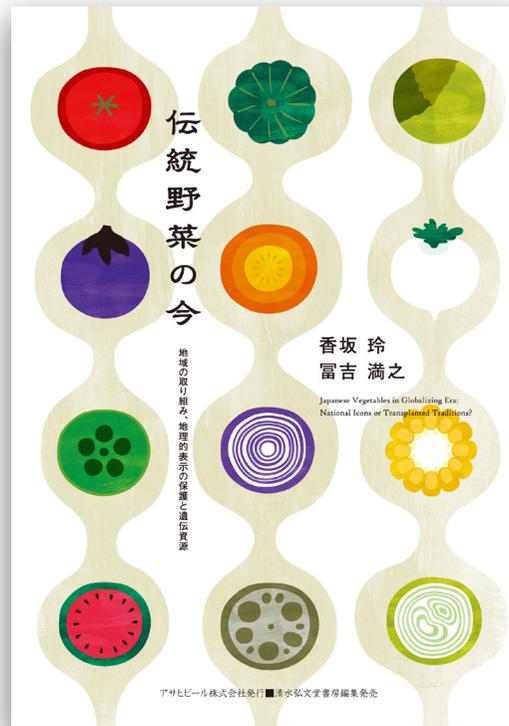
第Ⅰ部 曖昧なる伝統野菜

- 1章 そもそも伝統野菜と呼ばれるものとは何か
- 2章 全国各地の伝統野菜

第Ⅱ部

闘い、制度、
そして伝統野菜の未来へ

- 3章 遺伝資源をめぐる国内外の動き
- 4章 知的財産と地理的表示
- 5章 農業や農村に関わる国内の制度



本体 2000 円 + 税

ISBN978-4-87950-619-1 C0061

2015年7月発行

アサヒビール 発行
清水弘文堂書房 編集発売

貴店（帖合）印

ご担当

2000

ISBN978-4-87950-619-1 C0061 ¥2000E

注文数

書名

伝統野菜の今
地域の取り組み、地理的表示の保護と遺伝資源

発行所

清水弘文堂書房

著者

香坂 玲
富吉満之

定価：本体 2000 円 + 税